

～ひとごとではなく、「自分ごと」、「みんなごと」として市民・行政が協働！～
“みんなごと”のまちづくり推進事業

「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター 派遣業務

令和3年度 事業実施報告書

令和4年4月

事業実施者：特定非営利活動法人きょうとNPOセンター

1. 市民サポーター派遣業務を実施しての成果、業務の課題

“みんなごと”のまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣業務（以下、本業務）は、過去 5 年間に引き続き、令和 3 年度も特定非営利活動法人きょうとNPOセンターが業務実施者として運営を行い、京都市がもっとよくなる、もっと住みやすくなるための市民による「まちづくり」の支援を目指し業務を実施した。

<成果> 令和 3 年度は、市民サポーターの再編成とより多くの方々に知ってもらうための情報発信を大きなテーマとして、以下の活動に取り組んだ。

(1) 市民サポーターの再編

より多くの方にさまざまな形で活動いただく機会を設けるため、一律的な市民サポーター登録は一旦解消し、フロントサポーターとバックアップサポーターの 2 つの枠組みを設け再編成した。市民サポーターのプロフィールを京都市のポータルサイト「みんなでつくる京都」にアップし、サポーターの資質やサポート内容を具体的にイメージができるようにした。

(2) 「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣業務特設ページのリニューアル

きょうとNPOセンターホームページ内に設置している市民サポーター派遣業務特設ページのリニューアルを行った。伝えたいことを「制度概要」「相談事例紹介」「相談できる事柄」「サポーター依頼」の 4 つに絞り、市民サポーター派遣制度を理解しやすいページ構成とした。

(3) 市民サポーター派遣制度普及のための各区での PR

市民サポーター派遣制度について、より多くの団体に知ってもらうために各区の担当者やまちづくりアドバイザーに対して説明に伺った。各区で開催されているまちづくり活動支援交付金の報告会等で、地域活動団体へ PR を行った。

(4) 「市民サポーター通信」の発行

メールマガジン「市民サポーター通信」の配信を行った。毎月 1 回、臨時号 4 回で計 14 回発行した。コンテンツとしては、市民サポーターの派遣状況、市民活動に関するミニコラムとして「市民活動トピックス」を毎号掲載した。

(5) 講演会・交流会の実施

コロナ禍によって広がったオンライン会議に対応するために、オンライン会議の場でどのようにして話しやすい場をつくっていくのか、そのポイントについて松井朋子さん（ま企画／京都市まちづくりアドバイザー）にお話をいただいた。

こうした活動の結果、令和元年度は 9 団体から 合計 13 回の市民サポーター派遣依頼を受け、延べ 9 名の市民サポーターの派遣につながった。

<課題認識> 相談内容が事業計画の策定や広報計画などの長期的視点での検討を前提に支援を依頼するものから、困りごとへのワンポイントアドバイスに移行している。複数回の利用においても、1 つのテーマに継続的に取り組むのではなく、そのときの困りごとに対する単発的な対応が増えている。オンラインでの対応が増えていることがその要因と考えられる。今後は、そのような団体のニーズを捉え、“困りごと何でも気軽に相談”といった、“ちょっと教えて”的な利用方法もあることをアピールし、サポーター派遣の実効性を高めていく必要がある。

2. 派遣業務広報

①「まちづくり・お宝バンク」市民サポーター派遣業務特設ページのリニューアル

きょうとNPOセンターホームページ内に設置している市民サポーター派遣業務特設ページのリニューアルを行った。市民サポーター派遣制度を利用したいと考えている方々に向けて、伝えたいことを「制度概要」「相談事例紹介」「相談できる事柄」「サポーター依頼」の4つに絞り、市民サポーター派遣制度を理解しやすいページ構成とした。相談事例については、市民サポーター派遣制度を利用した団体の声や市民サポーターの顔写真を載せ、事業内容をイメージしてもらいやすくする工夫を凝らした。



②市民サポーター派遣制度普及のための各区でのPR

市民サポーター派遣制度について、より多くの団体に知ってもらうために各区の担当者やまちづくりアドバイザーに対して説明に伺った。その他に、各区で開催されているまちづくり活動支援交付金の報告会等で、地域活動団体へPRを行った。

| 日程 | 訪問先等 |
|---------------|---------------------------|
| 令和3年11月19日(金) | 中京区役所 |
| 令和3年11月25日(木) | 下京区役所 |
| 令和3年11月26日(金) | 上京区役所 |
| 令和3年12月9日(木) | 伏見区区民活動支援事業意見交換会 |
| 令和3年12月23日(木) | 上京朝カフェ |
| 令和4年3月9日(水) | 中京区民まちづくり支援事業採択団体による事後報告会 |

3. 市民サポーターに関すること

①メールマガジン「市民サポーター通信」の発行

継続取組みとして、事務局から登録サポーターへの定期的な情報提供ツールとして、メールマガジン「市民サポーター通信」の配信を行った。毎月1回、臨時号4回で計14回発行した。コンテンツとしては、市民サポーターの派遣状況、市民活動に関するミニコラムとして「市民活動トピックス」を毎号掲載した。その他に、市民サポーター派遣制度に関するイベントの告知を行った。

市民活動トピックステーマ一覧

| 配信日 | テーマ |
|--------------------------|------------------------|
| 第 24 号 (令和 3 年 6 月 2 日) | NPO 法が一部改正されます |
| 第 25 号 (令和 3 年 7 月 7 日) | 公務員による「副業」 |
| 第 26 号 (令和 3 年 8 月 4 日) | シビックテック～IT による市民活動 |
| 第 27 号 (令和 3 年 9 月 1 日) | 心理的安全性とは？ |
| 第 28 号 (令和 3 年 10 月 6 日) | コミュニティ・オーガナイズングとは？ |
| 第 29 号 (令和 3 年 11 月 3 日) | 地域活動の新しい担い手「地域自治組織」とは？ |
| 第 30 号 (令和 3 年 12 月 1 日) | サーキュラーエコノミーとは？ |
| 第 31 号 (令和 4 年 1 月 5 日) | 労働者協同組合とは？ |
| 第 32 号 (令和 4 年 2 月 2 日) | やさしい日本語とは？ |
| 第 33 号 (令和 4 年 3 月 2 日) | コーダ (CODA) とは？ |

②派遣回数

令和 3 年度の派遣回数は下記の通りである。

| 年度 | 派遣団体数 (延べ) | 合計派遣回数 (行政書士) | 派遣人数 (行政書士) |
|---------|------------|---------------|-------------|
| 令和元年度 | 14 団体 | 32 回 (4 回) | 19 名 (4 名) |
| 令和 2 年度 | 14 団体 | 20 回 (0 回) | 15 名 (0 名) |
| 令和 3 年度 | 9 団体 | 13 回 (0 回) | 9 名 (0 名) |

4. 市民サポーター登録の受付と更新

①市民サポーター再編

今年度、より多くの方にさまざまな形で活動いただく機会を設けるため、一律的な市民サポーター登録は一旦解消し、フロントサポーターとバックアップサポーターの 2 つの枠組みを設け再編成した。

<フロントサポーター>

「まちづくり・お宝バンク」取組提案者 (NPO、市民活動団体、個人等) の依頼を受け、市民サポーターとして困りごとの解決や活動の発展に向けたサポートを行う。登録サポーターは、本人了解の上、プロフィールやサポート実績、専門分野などについて京都市のポータルサイト「みんなでつくる京都」に掲載している。

<バックアップサポーター>

「まちづくり・お宝バンク」の取組みに共感する市民応援団として、講演会などのイベントに参加したり、周りの人々への市民サポーターの登録や市民サポーター派遣の利用の呼びかけなどを行う。

● 市民サポーター登録一覧 (2021年6月18日現在)

※ クリックすると専門家のプロフィールが表示されます。

| 氏名 所属団体 得意分野 | 性別 | 所属 | 地域 |
|--|----|-----|--------|
| ・ 応務・デザイン | 男性 | 京都府 | 上野・嵯峨 |
| ・ 資金調達 ・ 組織運営 ・ 地域連携 ・ ボランティアコーディネーター ・ 法人設立 | 女性 | 京都府 | 向日・伏見 |
| ・ 中小企業診断士 ・ コーディネーター | 女性 | 京都府 | 西田・高木 |
| ・ 組織運営 ・ IT ・ 事業企画 | 女性 | 京都府 | 西宮・向日 |
| ・ 地域公共政策 | 女性 | 京都府 | 久保・左衛門 |
| ・ ファシリテーション ・ 組織運営 ・ 連携促進 ・ ボランティアコーディネーター | 女性 | 京都府 | 久保西・共創 |

②サポーター登録人数

令和4年3月31日現在 **67人**（行政書士会からの登録者数は31人）

67人の内訳 フロントサポーター：57人、バックアップサポーター：10人

※ NPO法人、財団法人、企業、士業団体等に所属している方が登録されており、資金調達、広報、組織マネジメント、人材育成、NPO法人の設立及び運営などの業務をサポートすることができる。

5. 研修・交流会等

実施内容 まちづくり・お宝バンク 市民サポーター派遣 講演会・交流会

日時：令和3年11月28日（日）13：00～15：15（オンライン開催）

プログラム内容：

【オンラインファシリテーション講座「オンラインコミュニケーションを学ぼう！」】

- ・オンラインマナー
- ・オンラインコミュニケーション
- ・オンライン会議でのツール

【交流会】 講座の内容を踏まえて、参加者同士で交流を深める

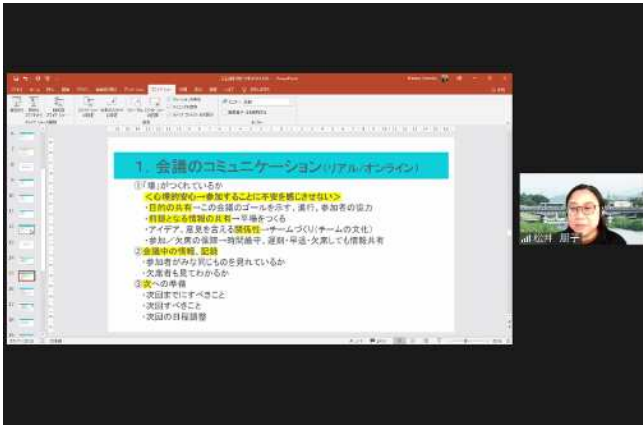
講師：松井朋子氏（ま企画／京都市まちづくりアドバイザー）

コロナ禍によってテレワークが一気に進んだ。便利な一方で「場の雰囲気察知しづらい」「進行が分かりにくく発言がしづらい」という声もあがっている。オンラインの特徴を踏まえたうえで、どのようにして話しやすい場をつくっていくのか、そのポイントについて松井朋子さん（ま企画／京都市まちづくりアドバイザー）にお話をいただいた。

オンライン会議で気を付けるポイントとして、参加者の wi-fi 環境や接続機器（パソコン、タブレット、スマホ）に合わせたオンラインコミュニケーションツールの選び方や画面の明るさ、背景、音、マナー、コミュニケーションのルール（チャットの活用方法やリアクションボタンの使い方など）について教えていただいた。その他に、オンライン会議前の準備での留意点や会議の目的を明確にすること、参加者／不参加者の間での情報共有の必要性についてのお話があった。

会議での意見共有のツールとしてオンラインホワイトボード（Google スライド、Google Jamboard、Miro、MURAL など）のご紹介もあった。交流会では実際に Google スライドを使って、ワークショップを行なった。

参加者からのアンケートでは「オンラインの新しい知識を取り入れたことで、団体へのサポートにも役立てることができそうです」「いつもと異なる環境からオンライン会議に参加する場合には、特に事前の環境確認や準備が必要と思いました。適切なブレイクアウトルームの設定など、オンライン会議では参加される方が話せる場を設けるなど、インプットとアウトプットのバランスを図ることが重要と感じました」といった声が寄せられた。



講座の様子



交流会の様子